

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	尼崎市立あこや学園	公表日 令和7年2月21日
------	-----------	---------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	21	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ホール、プレイルーム等、人数が多くなる場合は、危険のないように、時間やクラスを分けて使用。(3) ・複数クラスでの活動には、広いホールを利用している。 ・限られたスペースは、均等な時間配分で使用している。 ・室内は遊びごとに環境調整をしている。 ・雨天時はクラスごとにプレイルームとホールを交代で使うことで活動の保障をしている。 ・火曜日保育の日や雨天時などは、あらかじめ利用する場所を相談して、有効に使えるようにしている。 ・安全に配慮して各クラスレイアウトしてある。 ・雨天時の場所の確保(特に親子通園時)に課題があると考える。その中でも、クラス間で話し合ったりそれにあつた内容に変更したりして工夫はできている。 ・ホール、プレイルームなど、雨の日でも遊べる空間は充実している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子通園時は雨天時に困ることはある。(2)
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	15	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーの職員が確保されている。 ・各クラス休みの職員がいた場合は、フリーの職員やこどもの人数が少ないクラスから応援に入るなど、人手が足りない状況を作らないように工夫している。 ・必要時は、担任以外の職員でフォローしている。体制が厳しいときは、安全にできる保育内容を考えている。 ・状況に応じてクラス担任以外の職員も応援に入ったり、戸外遊び時には職員を増やしたりして安全に遊べるような体制にしている。 ・職員の休みが入ると、フォロー体制等難しくなることもあるが、配置数は満たしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーの職員等、もう少し人員に余裕があるとより良い療育が出来ると思う。(5) ・配置人数は満たしているが、戸外遊び等時間帯により、職員の見守りの人数が足りないと感じる事がある。 ・法で決められた基準は満たしているが、余裕はないため、職員の長期休みが出た時は不安である。 ・その日の出席人数や活動内容により、応援の職員が入り支援できるようにしているが、2人担任は支援が行き届かない部分もある。 ・職員が休暇を取った際に、フリーの職員が少ないためぎりぎり業務を行っている気がする。(3) ・場面やその日のこどもの姿により、臨機応変に応援し合うことは必要だと感じることがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	20	2	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの特性に合わせた環境構成がされている。(3) ・園児の顔写真等で、靴箱やロッカー等の位置を分かりやすくしている。 ・園庭、クラス、トイレ等、一階のスペースで移動・活動ができています。 ・視覚支援ツール等を使用し、わかりやすい環境、見通しの持てる生活がしやすいように配慮している。(2) ・個々のこどもに応じた環境上の配慮点を会議等で職員が共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手作りで補っていることが多いため、既成のもの導入があればより良いと思う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	20	2	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの活動に合わせた空間になっている。 ・清掃業務を業者に業務委託しており、療育後、清掃職員が毎日丁寧に掃除をしている。(2) ・週一回の安全点検をはじめとした環境整備を行っている。(2) ・毎朝園庭清掃や、環境整備を行っている。(2) ・玩具の消毒を定期的に行っている。 ・排せつ物の処理などのマニュアルを作成し遵守している。また、昨年度末よりトイレスリッパを導入するなど、衛生面に配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレは、空調がないため夏場・冬場ともに配慮が必要。(2) ・廊下やトイレに空調がないため、体温調整が難しい園児にとっては、困難な環境だと感じることがある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	18	4	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の数や部屋数の理由で個別の場の使用は難しいことがあるが、こどもの状態に合わせて対応している。 ・こども用トイレの使用に抵抗のある児は多目的トイレを使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物的な環境としてはあるが、人間的にそれが難しいと感じることがある。 ・こども専用のクールダウンに使う個別の部屋はない。
6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	21	1	<ul style="list-style-type: none"> ・研修で取り上げ、職員が意識できるようにしている。 ・会議や係りで行っている。 ・日々日誌を記載し、クラス単位などで話し合ったり、会議で共有するなどしている。 		
7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	21	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートの内容を職員で共有し、改善策を話し合っている。(2) ・保護者の意向については必ず確認し、職員間で業務改善に向けての話し合いが行われている。 ・評価を振り返り、回答して改善していく機会が設けられている。 ・親子療育などで、保護者の意向を把握している。 ・保護者の意見を共有し、今改善できるところ、今後課題となるところなど、話し合っている。 ・保護者の意見を職員全体で検討して、一つ一つ回答し、改善できる所はその都度改善している。 		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20	2	・会議や研修の機会がある。 ・安全対策委員会や行事検討委員会など、職員が話し合う機会を設けて、業務改善に繋がるようにしている。 ・職員会議などで意見の把握が行われている。(2)	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	14	6	・避難訓練や不審者対応する訓練など、外部から意見をもたせながら改善をすすめている。 ・保護者アンケートの実施。 ・尼崎市指定管理者モニタリング評価を受けている。	・第三者評価は行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	21	1	・オンライン研修も含め、研修を受講する機会が、多く設けられている。(3) ・園内、事業団、その他外部の希望する研修を、調整して受けられるようにしている。(2) ・事業団研修や希望制で受講する外部の研修も充実している。 ・あこや学園内でケース会議を行ったり、外部の研修を受けたり、事業団の全体研修などを行っている。 ・研修後は、報告書や会議にて全職員に内容を周知している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	20	1	・年度始めに療育の冊子を作成し、支援の内容などを保護者に説明している。 ・個別支援計画を立てて進めている。 ・それぞれのこどもの姿に応じて個別支援計画を作成している。また、日々の療育のプログラムは職員で集まって考えている。 ・現在、準備段階。今年度中には公表する予定。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	22	0	・アンケートによる保護者のニーズ把握を行い、クラス担任、児童発達支援管理責任者による会議で作成している。 ・保護者のニーズを聞き、こどもの現在の姿を考慮して作成している。作成したものは、懇談をとって保護者に確認し、同意を得るようにしている。 ・日頃より保護者とこどもの姿を共有し、姿に合わせた支援計画を作成している。 ・保護者からの聞き取り、懇談から作成している。 ・定期的に保護者と懇談の機会を作り、こどもや保護者の思いに沿った計画になるようにしている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	22	0	・複数の担任、児童発達支援管理責任者、言語聴覚士、公認心理師が連携して検討、作成している。(4) ・作成前には、検討会議を行い関わる職員の周知を図り、作成していく。 ・作成前に、他事業所の支援計画の確認も行う。園内のモニタリング会議には、相談支援事業所の担当者にも出席してもらっている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	21	1	・作成したものは保護者との懇談も含めて、共有できるようにする。また、中期で支援の確認も行い適切に支援ができていないかの振り返り、見直しなどを行っている。 ・児童発達支援管理責任者とこどもの担当職員で共有している。(2)	・クラス、児童発達支援管理責任者、園長は共有できているが、他クラスはできていない。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	21	1	・個別支援計画など5領域に合わせて設定している。 ・発達検査を行い、客観的なアセスメントを行っている。 ・園独自の発達評価表を使い、状況を確認している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	22	0	・総合的な支援の方針、長期、短期目標を踏まえたうえで、具体的な本人支援の内容を検討している。 ・児童発達支援管理責任者が会議に参加し、項目をおさえて、設定している。 ・こどもの姿をとらえて、総合的な方針を考え、それに沿って支援を考えている。 ・個別支援計画で示されている。 ・今年度から、個別支援計画の書式が改編されたことを合わせ、個々への支援について設定された内容だと思う。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	22	0	・複数クラスで話し合い、月の保育案を調整している。また、合同で行う活動は前日までに打ち合わせをしている。 ・活動前には話し合いをして、適切なプログラムを考えている。 ・クラス間で話し合いを行っている。(2)	・共有の仕方、気づきを伝え合うことに課題はある。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	22	0	・年間の予定を踏まえて、月単位で、事前に保育の予定を検討している。 ・活動後には反省会を行い、良かった点や次回の改善策が考えられるようにしている。 ・同じ保育内容であっても、何をねらいにし、展開していくのかを都度話し合っている。(2) ・こどもの成長や姿に、合わせて保育内容を変えている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	22	0	・保護者のニーズやこどもの発達状況に応じて、検討し、支援されている。 ・集団活動が主だが、個別の言語訓練、火曜日保育での個別療育がある。(2) ・こどもの姿をとらえ、そのこどもにあった支援計画が立てられるようにしている。(2)	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	21	1	・複数クラスで行う活動は、クラスで代表者が話し合いをし、分担を確認して参加していない者にも共有している。 ・事前に打ち合わせをして、活動内容や役割分担を行ってより良い支援ができるようにしている。(2) ・支援開始前に打ち合わせを行い、その日のこどもの姿により職員が臨機応変に声をかけ合い支援を行っている。	・職員が休みの時(急にクラスの応援に入る時)に、その日の流れをできるだけ確認はしているが、朝の時間帯がバタバタしてやりきれないこともある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	21	1	・クラス担任以外の職員にも意見を聞く。 ・気づいたことなどあれば必ず報告して周知し、改善できる部分などを話し合えるようにしている。 ・園児降園後、担任で振り返り情報共有している。(2) ・良い点もそうでない点も話し合っている。 ・その日に必ず行っているとは限らないが、振り返りを進めている。	・勤務時間内に振り返りがなかなかできないため、休憩時間を削って話すケースが少なくない。 ・研修や行事の準備などでその日に行えない時がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	21	1	・日々の療育日誌や、親子通園時は保護者支援の内容を記載して、今後の支援に繋げている。(4) ・日々日誌を記入しており、担任をはじめ、園長、チーフと共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	22	0	・年3回行っている。必要時、見直しをして計画に反映している。 ・相談員も同席し、モニタリングを行っている。(2)	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	22	0	・担任、公認心理師、児童発達支援管理責任者などこどもに関わっている職員は必ず入っている。(3)	
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	22	0	・気になることがあればケースカンファレンスを行って、支援の改善ができるようにしている。 ・関係機関懇談会やオープンあこやなどで他機関と繋がりを持つて行っている。また、日々連携も取れている。(2)	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	21	1	・関係機関懇談会時や随時連絡をとり、状況の共有、理解に努め支援につなげている。(3) ・入園前にもこどもの様子を共有したり、移行後アフターケア(訪問)を実施したりしている。(2) ・事前に移行先とこどもの姿を共有し引き継ぎを行っている。	・併行利用は現在行われていない。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	22	0	・書面(引き継ぎ書)や実際に来園いただき、引き継ぎを行っている。(5) ・就学後にアフターケア(訪問)を実施している。(3)	・書面(引き継ぎ書)に記載する内容の精査や、作成期間の余裕が必要。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	20	1	・オープンあこやや関係機関懇談会を実施して療育を公開し情報共有している。(5) ・ネットワーク会議の準備に参画し、出席している。 ・個別支援計画などを通じて連携している。また、必要に応じて電話などでのやり取りもおこなっている。 ・園児が利用している事業所とは、個別支援計画を共有したり、モニタリングで姿を共有したりしている。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	21	1	・外部研修の場合、研修報告により全職員で共有している。 ・研修などを行い質の向上を図っている。 ・研修の機会が多い。外部講師による研修も行っている。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	17	3	・あまっこ部会に担当者が参加している。 ・主に児童発達支援管理責任者が参加している。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	22	0	・保育交流、リズム交流を実施して、保育所(園)のこども達との交流を図っている。(7) ・森展やアムアムなど、地域のイベントに参加している。	・今後園児がいる時間の園庭開放を実施できたらより、地域と繋がっていきけるのではないかと。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	22	0	・親子通園時や連絡帳、電話等で、やりとりを行い、保護者とこどもの様子や課題等を伝え合い、共通認識に努めている。(5) ・必要時に懇談をとり、共通理解ができるよう努めている。(2) ・電話やノートでのやりとり、火曜日保育、なかよしデイなどで直接お話しをする機会がある。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	22	0	・ペアレントトレーニングや保護者向け研修を実施している。(5) ・家族参加の行事の実施やファミリーデイ、保護者に向けての研修会などを実施している。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	22	0	・契約時や親の会にて、説明をしている。 ・入園初期に療育の説明会を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	22	0	・作成するにあたって、事前にアンケートをとってニーズを確認している。(2)	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	22	0	・懇談を行い、確認している。(3) ・個人懇談や家庭訪問の際に行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	22	0	・親子通園時に、保護者からの聞き取りやこどもへの対応のなかで助言を行い、記録にも残すようにしている。 ・連絡帳や電話、保護者登園日に話を聞き、必要に応じて面談等で相談に応じている。(3) ・公認心理師の発達検査や担任の日々のやりとりなどで行なっている。	・電話やノートでのやりとり、直接お話ししたりして行っているが、発信しにくかったり、自分の思いを伝えることに消極的な方へのアプローチは必要だと感じる。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	21	0	・親の会の活動に協力している。 ・親の会やクラス懇談など、交流の機会をもうけている。(2) ・行事には、きょうだいが参加してもらえるものがある。(2)	・きょうだい支援については、次年度から実施できるようにすすめている。 ・きょうだい同志の交流はあまり行われていない。(3)
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	21	1	・電話や必要に応じ懇談で、詳細を聞き対応している。 ・適切に対応している。 ・会議で周知している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	22	0	・今年度よりInstagramを導入し、活用している。(5) ・ミマモルメやInstagramなどで、迅速に配信できるようにしている。 ・クラスや園だより、SNS等で発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	21	1	・保護者から写真の使用等に関する意向を聞き、配慮している。 ・個人情報の載っているものは基本外部に出さないようにしている。 ・個人情報は持ち出ししないことが原則であるが、必要時は、持ち出し簿に記入し園長の承認を得ている。また、持ち帰った時は園長の確認を得ている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	22	0	・相談や苦情などにも、迅速な対応ができるようにしている。 ・保護者とのやりとりのためのノートがある。 ・状況に応じ、電話やミマモルメで伝達している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	20	2	・きらきら・わくわくクラブは、市報に掲載。チラシを分かりやすく、以前より配布場所を複数箇所にした。 ・園庭開放や、きらきらくらぶ、わくわくくらぶなど、地域に開かれた運営に努めている。 ・園庭開放、オープンあこやで地域の方に、来園していただいている。(4) ・森展やアムアムなど、地域のイベントに参加している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	20	2	・定期的話し合いをして改善に努めている。 ・定期的訓練を実施している。 ・マニュアルを作成し、また、委員会で話し合いがされている。 ・園児との避難訓練だけでなく、消防、警察の方にもきていただき、職員だけで防災防犯の訓練も行っている。(2) ・職員には一人一冊、マニュアルを配り、年度ごとに確認、マニュアルの改訂を行っている。	・ご家族へマニュアルをわかりやすく周知できる方法が今後必要だと思う。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	22	0	・BCP計画を策定している。 ・定期的に避難訓練を行っている。(2) ・1月に実施予定。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	21	1	・入園時、在園期間中に必要に応じて聞き取りを行い、看護師とともに園児の状況を確認、把握している。(2) ・マニュアルを作成し、職員間で周知し、全職員が適切に対応できるようにしている。(3) ・療育前に、健康ノートの記載事項を確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	22	0	・指示書に基づき、職員に周知している。(2) ・毎朝、ミーティングで給食のアレルギ食を確認している。 ・毎月食材を記入したメニュー表を保護者の方へ配布し、除去食の確認を行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	21	0	・安全計画を作成している。 ・定期的話し合いをもち、改善に努めている。 ・週に一回安全設備点検を実施している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	21	0	・個別支援計画や、療育の冊子にも記載して周知できるように努めている。	
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	22	0	・書面にして、職員全体で周知できるようにしている。 ・ヒヤリハットを会議で報告し、全体で周知している。 (2)	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	22	0	・気になるこどもの姿があれば、報告して全体周知に努めている。 ・定期的に研修を行っている。(2) ・虐待防止委員会にて話し合い、全職員に周知している。 (2)	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	21	1	・個別支援計画に記載し、保護者と確認し合い、了解を得ている。(2) ・虐待防止委員会で話し合い、必要なこどもにはその後保護者への説明を行っている。都度話し合いをし、記録にとっている。	